

【タケダ・ウエルビーイング・プログラム 2012 助成事業

「地域から長期入院の子どもたちに楽しい時間と笑顔のプレゼント」】

特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター

【子どもの声】

- ・ 教え方がよかった。おもしろかったし、また、やりたい。もっといっぱい作りたい。
- ・ ひまだったから、こういう企画がたまにあるとうれしい。次はもうちょっと時間を長くして。
- ・ 自分の器用さを確かめられてよかった。
- ・ 意外に簡単だった。弟にも作ってあげたい。冬もやりますか？
- ・ ミサंगाにハマッタ！手裏剣もおもしろい！！マジックスクリーンがたのしかった。
- ・ 最初は難しいなと感じたけど途中で流れるように作れた。疲れたけど集中力が向上したような気がした。
- ・ 今日出てこれなかったお友達に作り方を教えてあげようっと。

【保護者の声】

- ・ 親子で作れたのでとても楽しかった。また来てほしい
- ・ 子どもたちが楽しそうに生き生きしていますね
- ・ クイズのしかけがおもしろかった 気分転換になった

【病院関係者の声】

- ・ 同じ作業をするにもペースの違いがあり、わからない点を教えたり、相談にのったり、逆に相談したりと助け合う場面がみられ成果があった。
- ・ 音が鳴ると首を動かしたりするので、聞こえるんだなあ。
- ・ このような機会は必要だと思う。いろんな体験が少ないので刺激になる。表情が変わるのでそれを観察したりもできる。
- ・ 普段と違う（子どもの）新しい面を見た。表情だけでなく、音楽を聴いて明らかにリラックスしていて体が柔らかくなっているのがわかった。
- ・ 集中してやっていた。刺激がないのでいろいろな方に会ってときめいたと思う。
- ・ ふだんなかなか子ども同士のかかわりができにくい。こどもはついゲームになってしまう。楽しい、できたというのが大切。作りたいものを自分で選べるのが良い
- ・ 中学生が抵抗なく集まって来て、自分一人ではやらないことを、友だちが一緒ならやろうとする姿があった。講師の大学生が子どもたちの中に楽しそうに溶け込んでくれた。用意された工作に新鮮さがあって子どもたちも興味を持った。
- ・ いつもはみんなの集まる場所に出るのがなかなか難しい子もお母さんにしがみつきながら制作していたのですごい進歩と驚きました。